CORE
Metadata, citation and similar papers at core.ac.uk
Provided by Hiroshima University Institutional Repository

〈資料〉

異文化間コミュニケーションの問題解決場面に見られる日本人学生の自文化認識

大浜るい子・永田　良太

Cultural Identity of Japanese Students

－through the Opinion toward the Problem of the Cross-cultural Communication－

Ruiko OHAMA, Ryota NAGATA

0．はじめに

近年，在日外国人の数が増加し，日本人との交流が盛んになるにつれて，異文化間コミュニケーションは我々の身近な問題となっている。異文化間コミュニケーションにおける問題に関しては，相手の文化を知ることの必要性が強調されることが多い。しかしながら，それ以前に我々は自らの文化について正しく理解していると言えるのであろうか。

我々は異文化を知ろうとする時に，その文化についてのステレオタイプ的な知識を求めるという誤りをしばしば犯すことがある。我々は同様の誤りを，自らの文化を認識する際に犯してはいないだろうか。自らの文化について，改めて対象化し，客観視することは，それとは異なる文化の存在に気づくことになり，異文化間の問題の解決に役立つと考えられる。

本資料は，ある外国人によって提起された異文化間コミュニケーションの問題について，日本人大学生207名が作文形式で意見を述べたものから収集されたものである。外国人が提起する問題に日本人が意見を述べるということ自体，一種の異文化間コミュニケーションであると言えるが，口頭によるものよりも，意見の形成に時間をかけることが出来る分，通常表面化しない，自文化についての我々自身の認識や知識が本資料では明らかにされている。それらが日本人のステレオタイプ的な認識や知識であるのかどうかは，異文化間コミュニケーションに関わろうとする人々の今後の議論にゆだねられている。本資料は，そのような自文化発見の為の議論に役立つ資料提供を目的として整理されたものである。

1．資料の概要

本資料は2001年の５月から７月にかけて，広島大学の学部生207名を対象に行われた調査に基づいている。調査では，以下の文章が示され，それに対する意見(400字から600字程度)を書くよう求められた。

「これは，ある外国人が，日本人との会話はこのようなもので，あまり愉快なものではないと例にあげているものです。不愉快なのは，日本人はいつも同じ質問をし，相手に尋ねるばかりで自分自身のことについて何も話さず，外国人に好奇心をもちすぎるというのです。そんな意見に対して，あなたはどう思いますか。あなた自身の意見を述べてください。」

〈学生に示された文章〉
日本人「どこからいらっしゃったんですか。」
留学生「タイです。」
日本人「いつ日本にいらっしゃいましたか。」
留学生「二年前です。」
日本人「日本語は難しいでしょう。」
留学生「ええ，でも，大分慣れてきました。」
日本人「いやあ，日本語がお上手ですねえ。」
留学生「まだまだダメです。」
日本人「タイは暑いでしょう。雪は降りますか。」
留学生「ええ，とても暑いです。雪は降りません。」
日本人「日本の生活にはもう慣れましたか。」
留学生「はい。」
日本人「タイの人は刺身は食べられますか。」
留学生「私は刺身は大好きです。」
日本人「納豆は食べられますか。」
留学生「はい，食べますけど。」
日本人「今，寮に住んでいるんですか。」
留学生「いいえ，アパートです。」
日本人「大学はどこですか。」
留学生「Ｐ大学です。」
日本人「専攻は何ですか。」
留学生「機械工学です。」
日本人「そうですか。それは偉いですね。」
出典：堀江・インカピロム・プリヤー「異なる文化

や言葉を持つ人とのコミュニケーション」『日本語教育　新ことばシリーズ3(文化庁)』平成8年による。

本資料は調査によって得られた回答のうち，次の3点について記述された部分を抜き出し，整理したものである。

①「日本人は外国人に対して好奇心を持ちすぎる」という意見に対して記述された部分

②「日本人から同じ質問ばかりされて不愉快だ」という意見に対して記述された部分

③外国人によって提起された問題にどのように対処するかについて記述された部分

各々の項目の記述内容は以下の通り分類された。

2．分類項目の説明

まず，①「日本人は外国人に対して好奇心を持ちすぎる」という意見に対する学生の記述には，それを否定するもの(1-1)と肯定するもの(1-2)とが見られた。そして，肯定する際には「日本は島国である」や「鎖国をしていたこともある」などのように，日本の地理的事情(1-2-1)や，歴史的・社会的事情から説明するもの(1-2-2)が見られた。分類は以下の通りである。なお，分類番号は資料中の番号に対応している。

1-1　好奇心があるということを否定する

1-2　好奇心があるということを肯定する

　1-2-1　日本の地理的事情から説明する

　1-2-2　日本の歴史的・社会的事情から説明する

次に，②「日本人から同じ質問ばかりされて不愉快だ」という意見に対する学生の記述は二つに大別される。

一つ目は「なんとも理解し難い」のように，理解を示さないものである(2-1)。このような反応の中には「質問をして，何とか仲良くなりたいと思うからこそそうするのであると思う」のように，日本人の行為を正当化するものも見られた(2-1-1)。

二つ目は「私も不愉快だと考える」のように理解を示すものである(2-2)。その際，外国人が不愉快さを感じる原因として，日本人の行動の特殊性(2-2-1)と会話の仕方の特徴(2-2-2)に言及するものが見られた。

例えば，「同じ質問を繰り返してしまうのは，日本人が（特に欧米人と比べて）特殊な（独自性の高い）文化をもっていると自負しているところがあり，外国人がその文化になかなか慣れることができないと思い込んでいるところが大きいため」のように，日本人は特別であるという意識に言及するもの(2-2-1-1)や「このような質問はまだ親しくなっていないうちの，その場限りの道具のようなもの」のように，日本人の会話における儀礼的な表現の一つとして説明するもの(2-2-2-1)などである。

「日本人から同じ質問ばかりされて不愉快だ」という意見に対する学生の記述は以下のように分類される。

2-1　不愉快であることに理解を示さない

　2-1-1　正当化

2-2　不愉快であることに理解を示す

　2-2-1　日本人の特殊性から弁明する

　　2-2-1-1　日本人は特別であるという意識

　　2-2-1-2　日本人を肯定的に評価する

　　2-2-1-3　自分のことを話さない

　　2-2-1-4　自己表現が苦手

　　2-2-1-5　自己を下位に位置づける

　　2-2-1-6　自分にも質問してほしいという暗示

　　2-2-1-7　情報獲得による自己満足感

　2-2-2　日本人の会話の特徴から弁明する

　　2-2-2-1　儀礼的性格

　　2-2-2-2　共通の話題探し

　　2-2-2-3　相手の出方をうかがう，距離を測る

　　2-2-2-4　沈黙への恐怖

　　2-2-2-5　相手への興味を示す

　　2-2-2-6　答え易さへの配慮

2-3　その他

最後に，③提起された問題にどのように対処するかについての学生の記述は，「この事例はまれなこと」であり，交流が進むうちに自然に解決すると考え，特に対処しないというもの（3-1)と積極的に対処しようとするもの（3-2)とに大別される。

積極的に対処しようとするものには「外国人から日本人に対していろいろ質問してみればよい(3-2-1-2)」のように外国人に向けられたもの(3-2-1)と，「日本人が外国人に対して特別意識を持たないようにするべき(3-2-2-2)」のように日本人に向けられたもの(3-2-2)，そして「コミュニケーションというものは互いに質問し，お互いが相手を理解していくものだと思う」のように外国人と日本人の双方に改善を求めるもの(3-2-3)という3通りのものが見られた。

外国人から提起された問題にどのように対処するかについての学生の記述は以下のように分類される。

3-1　問題に対処しない
3-1-1　例外的で不幸な出会いであると処理
3-1-2　自然な解決を待つ
3-2　問題に対処する
3-2-1　外国人に向けられたもの
3-2-1-1　外国人への反論
3-2-1-2　外国人への提案
3-2-2　日本人に向けられたもの
3-2-2-1　日本人への提案
3-2-2-1-1　相手に間を与えよ
3-2-2-1-2　自分のことを話せ
3-2-2-2　日本人の努力目標
3-2-3　外国人と日本人の両者に関するもの

これまで示してきた各類型の具体的な表現を以下に示す。

【謝　辞】

本研究は平成13～14年度文部科学省研究基盤研究（C）（2）「留学生支援のためのジャーナル　談話分析」（研究代表者：倉地暁美。課題番号967569）の助成を受けて行われた。

1　日本人は外国人に対して好奇心を持ちすぎるか？

1-1　好奇心があるということを否定する

・好奇心を持ちすぎるとは思わない
・好奇心を持ちすぎているわけではなく
・外国人に興味を持ちすぎるわけではない
・外国人に好奇心を持ちすぎるというのは必ずしもそうだとは言えない
・日本人が特別の好奇心をもっているわけではないが，そのようにとられてしまう
・相手に質問を投げかけることがそのまま好奇心に結びつくとは考えにくい
・「日本人が外国人に興味を持ちすぎるためである」とするのは間違っている
・これは，外国人に対して好奇心を持っているのではなく
・これは好奇心からではない
・好奇心だけではないと思う
・（質問しすぎるのは）単に好奇心のみからくるものではないと思う
・このような質問は相手への過度の好奇心ではない
・日本人に限らない
・外国人に興味を持つのは，どこの国の人でも同じだ
・自分と文化，習慣，宗教，価値観，全部違う国から来た人には好奇心を持たずにはいられないのである
・人間の知の欲求というか知らないものを知りたいという気持ちは強く，それを否定することもできない
・だいたい人間は珍しいもの好きな傾向がある
・外国人に対してだけじゃない

1-2　好奇心があるということを肯定する

・外国人に興味がある
・外国人は興味深い
・日本人は外国人に興味を持ちすぎる
・我々は外国人や外国への好奇心がある
・外国人に好奇心を持ちすぎる
・日本人は外国に対する関心が強く好奇心を持っています
・日本人は好奇心が多少は強いのかも知れない
・外国人に対し好奇心がわくのではないだろうか
・日本人は外国人を見るとつい偏見の目で見てしまい，めずらしいだとか思ってしまう悪いくせがある
・知的好奇心を満たそうとする動きが強い
・外国人に興味を持ちすぎるということには賛成できる
・好奇心を持つことには特に反論はしません
・外国人に好奇心を持ちすぎだという意見も納得できる
・好奇心を持ちすぎるというのも分かる気がする
・外国人に対して興味を持ちすぎるというのも一理ある
・外国人に好奇心を持ちすぎるというのはその通り
・好奇心をもって接している様子は確かに感じ取れる
・好奇心を持ちすぎてしまうのはしようがない
・好奇心を持っても仕方がない
・留学生の方に興味を持つのは仕方のないこと
・好奇心を持つのは当たり前
・外国人に好奇心を持つのは当然ではないでしょうか
・好奇心を持ちすぎるのは自然なことではないかと思う
・逆に何で外国人が日本人に対してもっと好奇心を持たないのか不思議に思う
・外国人に対して質問を好む傾向にあるのは確かだ

1-2-1　好奇心があることを日本の地理的事情から説明する

・日本は島国であり
・日本という国は四方を海で囲まれているため
・日本には国境というものが存在せず外国＝海外である
・国境線が目に見えて存在していないので，隣の国を意識しにくい
・どの国とも隣接していない
・陸地のどこも外国と接しておらず

1-2-2　好奇心があることを日本の歴史的・社会的事情から説明する

・鎖国をしていたこともある
・鎖国をして外国人を追い出したりした
・鎖国していた時代もあり日本は排外的な社会だから
・極東の大日本帝国というように閉鎖的になった歴史がある
・日本がほとんど単一民族国家のようなものであるため
・単一民族（正確には違うが）
・日本は多民族国家ではない
・長い間日本人しかいなかった国なので
・日本人は，家族や村などの単位でまとまり，引きこもるような性質があるので，他者に対しては，恥ずかしさや嫌悪を感じやすい
・地理的歴史的に異文化と接する機会が少なかったこと
・古代から日本は外国と交流がすくなかったから
・外国の文化を取り入れ始めたのはごく100年ほど前にすぎない
・昔から海を渡ってくるものは敵だという認識が強く，外国人を排斥する傾向が強かった
・日本は古くから中国やヨーロッパの文化や学問を真似し，自分たちのものにしようとしてきた
・日本に外国人が少ないから
・外国人の数が他の国と比べて少ないから
・外国人と接触する機会があまりなかった
・外国人と接する機会が明らかに少ない
・日本人は日本人としか接していないことが多いため
・日本人以外の人と接することがほとんどなく
・外国人と一対一で話す機会はめったにない。だからさまざまな疑問をもつ
・たいていの日本人が外国人と親しく接触したことがなく慣れていない
・外国人と話すことにあまり慣れていない
・珍しいから
・異文化の香りが感じられるから
・外国人は多くの人にとって未知の人であり
・外国人が特別な人だ，特殊な存在と思っているから
・必要以上に外国人を自分たちとは違う特別な人であると考えている
・外国の人が日本語を話すことができるというだけで珍しい
・外国人が自分の質問に答えてくれるだけで感動する
・外国人や外国人の習慣や文化や好み等についての知識が乏しいから
・自分達とは異なる肌の色の人を日常で見慣れないため
・日本人一人一人にとっては外国人との新鮮な出会い
・好奇心を持ちすぎるのは日本人は外国人を日本社会の中の外国人として見ているからそのようなことになるのではないでしょうか
・外国人を guest 扱いしすぎている
・日本は農業国で，昔から生まれた地域から離れることは少なく，そこに永住する場合が多かったことが，異文化交流の不慣れを招いている
・日本人は学生時代における留学経験率が高くない
・外国旅行に行く日本人は多いが，観光客として行くとどうしても本物の現地の人の声に触れる機会に恵まれないから
・グローバル社会になっても，自分の周囲に外国人がいることを，普通のこととして考えられるようになっていない
・あまり国際化していない

2　日本人が外国人に同じ質問ばかりするのは不愉快だということに対する反応

2-1　不愉快であることに理解を示さない

・不愉快なことであるとは決して思わない
・なんとも理解し難い
・不愉快に感じることは特になかった
・相手を不愉快にさせる気はまったくない
・これのどこが不愉快なのだろうと疑問に思う
・相手のことを知って親しくなろうとする意欲が見え，積極的に行動しているのであるから，ほめられはしないにせよ，不愉快な点ではないと考える
・相手の気持ちを考えない無神経な質問とは思えない
・どうしてだろう，私だったらうれしい
・好奇心をもっていることは悪いことであるとは言えないし，むしろよいことのように思われる
・不満を持つのは少しおかしい
・外国の方が不愉快に思っていること自体が自己中心的だと思う
・不愉快だと文句を言うのは失礼
・異文化のなかにあって違和感を覚えるのは当然であるし，それを不愉快と感じるのは，その人が異文化を理解しようとしていないだけである
・育った環境によって，物の見方や考え方，習慣などは違ってくるので，他国の人の言葉を不快に思うことがたびたびあるだろう
・初対面か，まだあまり親しくない段階での会話で，お互いをよく知るために自分が興味をもったことを質問することはどの国の人でも普通なことであると思う
・相手があまり知らない人である場合，あたりさわりのない話からはじめるのは，世界に共通して言えることなのではないだろうか

2-1-1　正当化

・日本人はそれだけ他の文化に興味をもっていて知りたいと思っている
・相手のことをもっとよく知りたいと思う人がそれだけ多い
・外国人をよく知ろうと思うことはその人の国の文化を知ることになると考えられないか
・相手の国の文化を知りたいと思うことは素晴らしいこと
・質問をして，何とか仲良くなりたいと思うからこそそうするのであると思う
・相手に対して好奇心を持つことはよいことだ
・好奇心を持つことが他国の文化に触れることになるのであればそれは立派な異文化交流であると私は考えます
・質問をするのはコミュニケーションをとろうとする気持ちがあるからだと思うので，その気持ちは良いことだと思います
・不愉快であると言い切っているが，私から見るとこれは普通のことであり，むしろ相手にとって気を使っていると思う
・日本人はなんとか外国人とコミュニケーションをとろうとしているともとれる
・日本人側の心理は，相手を深く知り，理解を深めて，友好な人間関係を築こうとするもの
・（僕は）好奇心を持たないでいるよりは好奇心を持って質問してもらったほうがうれしいだろう
・相手に好奇心をもつ国民がいたっていいだろう
・相手に対して好奇心を持つことはこれからの国際交流においても重要であると考える
・その会話で相手を知り，そこから広げていこうという気持ちの表れ
・異文化に対し興味を持つことは，異文化交流の第一歩であると思う
・こちら側から相方へのコミュニケーションをはかるための手段の一つだと思うので構わないことだと思います
・日本人が外国人に興味を持つのは，多少過剰であろうと，相手に迷惑にならないのなら，全然悪いこととは思えません
・外国人に迷惑にならない程度ならよいのではないかと思う
・好奇心をもって話しかけるのは相手が嫌がらない程度であったらいいことだと思う
・外国人にとっては日本人は自分の意志を持たない，自主性がないと思われがちであるが，それは日本人が昔からとり続けてきた態度だから仕方がないことなのである

2-2　不愉快であることに理解を示す

・私も不愉快だと考える
・相手を不快にさせていると思う
・不愉快になるのは納得のいく話である
・不愉快な気持ちになるのもうなずける
・外国人には不愉快なことだろう
・不快に感じるのももっともなこと
・確かにあまり愉快なものには思えない
・不愉快な思いをするのは当然だと思う
・嫌気がさすのも分かる
・何かすっきりとしないような気持ちになるのも無理ない
・いい気分にはならないので，この意見にも同意できる
・不愉快に感じるのも無理はない
・不愉快な会話であると思う
・この会話のようなものは確かに気分のよいものではない
・逆の状況においてこの質問が繰り返されれば，日本人も不愉快に感じるはずである。
・私自身が外国人の立場でこのような会話をしたとしたら不愉快になるだろう
・質問，応答という会話の流れがずっと続き，単調で退屈なもの
・これは日本人にしか通用しない思いやりなので，留学生にとっては不快なのである

2-2-1　日本人の特殊性から弁明する

2-2-1-1　日本人は特別であるという意識

・日本語を特別視し，他の言語よりも難しい言語だと考えている
・日本(語)は特別だという意識が多くの日本人にあるからだと思う
・同じ質問を繰り返してしまうのは，日本人が(特に欧米人と比べて)特殊(独自性の高い)文化を持っていると自負しているところがあり，外国人がその文化になかなか慣れることができないと思い込んでいるところが大きいため
・“日本語”“刺身”“納豆”など，日本特有のものを表す単語が含まれた質問に，外国人がどう答えるのか，その答えによって，我々日本人は「外国から見た特殊な国・日本」を感じようとしているのではないだろうか
・外国人に質問することで自分や日本との違いを知りたい，日本のよさを確認したいというふうに考えているのではないか
・日本人が好奇心を寄せているのは，「日本は特殊な国とみられているかどうか」という点ではないか
・日本人は“日本語や日本文化は世界でも特殊なものである”という概念を持っている
・日本人は日本の食生活や言語は世界の中でも特に変わっていて，外国人にとってはなじみにくいものだと思っている
・世界の中で唯一の言語であって，大変特別なものだと考えていて，その言語を話せるあなたはすごいといった感情があるのだと思います
・日本の文化というのは独特のものであり，外国人には受け入れられにくい文化で
・日本語は難しい言葉なんだと思い込んでしまっている
・何を話してよいかよくわからず，自分の中で日本の特異点であると思っていることを尋ねてしまう
・外国人に対して日本人は誤った偏見（外国人だから日本語は難しいだろう，刺身や納豆は苦手だろう等）を持っている
・日本人は日本に誇りを持っていて，少し優越感に浸っている
・日本人は留学生に対して自分が上の立場であるかのように話しているところがある

2-2-1-2　日本人を肯定的に評価する

・日本人は謙虚
・控えめであることというのがよしとされてきた
・日本人は控えめで思慮深い
・相手との人間関係を重んじて話している
・会話の中で相手を重視する考え方がある
・日本人は相手に対してとても気をつかうことが多い
・気遣いや遠慮といったものが影響しているのだと思う
・相手を立てようとする謙虚な姿勢を礼儀とする
・自分側を謙遜することで相手を立てようとするところがある
・他者との会話において常に相手のことを気遣い
・日本人は相手を基準に考えるという志向を持っている
・日本人は他人志向型で他人を思いやり配慮することを第一に考えることの多い民族
・日本人にとって相手を尊重するということは伝統的なことである
・日本には相手をたてるという伝統があり，相手中心に話を進めて相手を尊重するという考え方がある
・日本語を学習している外国人に対して，日本人なりの礼儀や思いやりの気持ち
・日本文化の中では常に謙虚な態度をもち自分自身を誇示してはならないのだ
・自分よりもまず相手という考え方が日本文化の特徴
・日本人は人間関係を温和なものにしようと努力する
・日本人は昔から人間関係を大切にし
・日本では自己主張をすることよりも協調性を重んじるため
・人と人とのつながりを重視する日本社会において
・常に相手のことを思いやってしまう日本人的な発想からすると
・日本人は自分よりも他人のことを先に考える生き物である
・相手との対人関係が円満でありたい
・初対面の人に悪い印象を持たれたくない
・万事穏便に事を運びたい
・人間関係を大切にするという心理が働いている
・日本には，なるべく自己主張を控え，控えめであることが美徳とされる国民性が根付いている
・初対面の人相手にその人が一体どういう場所で生まれ育ち，どんなことに興味をもって学んできたのか，またどんな理由で日本まで来たのか，外国人には日本とは果たしてどのようなものとして映っているのだろうかということを知り相手をとりまいている様々な背景を自分なりに理解した上でそれを念頭に据えつつ相手のことを考えた上で会話を行おうとすることは日本人のもつ思いやりそのものであると感じるからだ

・協調性や場の雰囲気を重んじ，極力相手とぶつかるのを避けようとする
・日本に来た外国人というのは，どうしても孤独で，大変な生活をしているというイメージを日本人は抱いてしまう。だから外国の人の話を聞いてあげようという同情から，日本人は外国人を質問攻めにしてしまうのだと思う
・外国人にいろいろ質問するのは，異国での生活は辛いものだ，私が話し相手になろうという親切心がそうさせるのだと思う
・相手の言うことを否定したり，異なる意見を述べたりはせず，相手中心に考え，相手の言うことを受け入れようと努力することが相手に対する配慮だと感じている
・ここには人間関係を大切にするという心理が働いている

2-2-1-3　自分のことを話さない
・自分をあまり前に出さない
・あまり日本人は自己主張をしない
・自分のことについてあまり知られたくない
・自分のことについて聞かれ，深くまでつっこまれるのを避けているようにも思われる
・あまり自分のことは言いたくない（シャイな性格だから）
・日本人があまり自分自身のことを言おうとしないのは事実だと思う
・ある程度付き合いが深くならないと自分のことを話せない
・日本人は自分を積極的に主張するということをあまりしないため，どうしても話題が相手のことばかりになってしまう
・相手が誰であれ，心のどこかに自分だけのスペースを大事にしたいという意識に傾いている
・日本人は引きこもるような性質があるので，他者に対しては，恥ずかしさや嫌悪を感じやすい
・自分自身のことについて何も話さないのは昔から培われてきた文化の一つであると思う
・日本人は，まだ慣れないうちは相手のことを知ろうとする意欲は強いが，相手に自分を知ってもらおうする意欲は少なく，相手のことを知ったらそれだけで満足してしまったりするようだ
・相手の情報は得たいが自分の情報は積極的に与えたくないという，ある種卑怯な考えがある
・日本において自分のことばかりを話すのは敬遠される
・日本では自分の意見をはっきり言う文化は育っておらず，自分のことばかり話すことに対して，ある意味タブー化された所もあるだろう
・自己主張の激しい人間はよしとされない
・自分から自分自身のことを話すと自慢しているようにとられてしまう
・一方的に自分のことばかり話したとしたら，相手は非常に不愉快な気持ちになるだろう，“めだちたがり，自己中心的”といった評価をするだろう
・自分のことばかり話して相手のことはあまり聞かないとなると，自己中心的な人であるとさえ思われることがある
・自分のことばかり話すのは，日本人にしてみれば，失礼なことである
・相手にでしゃばっていると思われるのではないかという心配
・日本人はもともと，自ら進んで自分のことを話そうとはしない国民である
・一方的に自分のことばかり話してしまうと相手に「何なんだ，こいつ」と思われはしないかと恐れてしまっている
・日本人には，自分のことをべらべらしゃべるのは失礼にあたるという考え方
・自分のことばかり話すことによって相手に自己中心的で他人のことを考えない人だと思われるのを極力避けようとする
・日本人は自らについて語ることをあまり良いこととは考えず，相手のことをいろいろ質問するのが礼儀のように思われる
・自分自身のことを語る（＝主張する）より，相手を知ろうとする態度を見せることが，日本人の文化，礼儀なのだ
・自分のことをべらべらまくし立てるよりも，相手のことを聞いてあげる方が日本人にとっては相手に対する思いやりがあるという意識がある
・日本人は相手からいろいろと自分のことを尋ねられると，自分に興味関心を持っていてくれているのだと感じうれしくなる。しかし逆に自分のことばかり話して相手の話を聞こうとしないのは自己中心的な人だと思われる恐れがある
・相手への過剰な質問という形で，自分自身のことを話す機会を最小限にしようという心理が働いているのかもしれない
・まだ付き合いの浅い人に対して，自ら進んで自分自身のことを話さないのは，何かでしゃばっている感じがするからだ
・自分としてはあまり知らない人にべらべらと自分のことについてしゃべるのは好きではないし「だから何なんだ」と思われる可能性があると考えてしまう
・自分自身を主張することは恥ずかしいものだと考える文化がある
・初対面の人に自分のことを質問されてもいないのに，話しすぎるのは，相手につまらない思いをさせはしないか，など多少気にしたりひかえたりするのだ
・相手は自分のことは知りたいとか思ってないかもしれないから，自分から自分のことを言うのは，逆に相手を不愉快にさせるのではないかと，考えてしまうのである
・相手にとって面白くない自らの話を相手に聞かせるのは面目ない，申し訳ないといった思考が働いている
・自分のことばかり話していると，相手の話す余地を与えずに勝手に話しているようで，自分勝手な感じがする
・相手から聞かれてもいないことを自分からべらべら話すのはかえって嫌がられるのではないだろうかという考えがある
・日本人は「自分自身のことは隠して，外国人からたくさんのことを聞く」ことが外国人に対して「親切な行為」だと思っていると思う
・日本人の間では，自分のことばかりペラペラしゃべっていると，″自己中な人″とか″いつも自分のことばかりで話を聞かない人″といったイメージをもたれることが多い。だから無意識的に自分は控えめにして，相手の話を聞くような会話をすることが多い
・自分のことについてはあまり話さず，相手のことばかり聞いてしまうのだ
・自分自身ことを話すと勝手だと思われがちなのであいてに質問をする，
・まずは相手の事を聞き，自分はあくまで第二であるという考え方が伴う
・先に相手を尊重する日本特有の礼儀が無意識のうちに出ているように思われる
・日本では自己主張をすることよりも協調性を重んじるため，自分から何か気持ちを伝えることが少ない
・日本人は自分の意見を言う前に相手に質問しその相手に同調することで，連帯感といったものをさがしている
・突然自分のことについて話しても何か唐突な感じがするから話さないだけ

2-2-1-4　自己表現が苦手
・日本人は自己主張が苦手
・自分のことをうまく表現するのも苦手
・自分を表現することに慣れていない
・自分自身を相手に自分自身で伝えることが苦手だからその結果として質問ばかりすることになってしまう
・日本人は知らない人とコミュニケーションをとることが苦手
・日本人のコミュニケーション能力が弱いから
・日本人側の話す技術が低い

2-2-1-5　自己を下位に位置づける
・日本の文化として相手をたてて自分を低めるという考え方があり
・日本人は，自分を相手より一つ下に位置付け
・自分を下げようとする
・日本人は外国人と違って自分を低く謙遜して相手を立てる
・日本においては自分よりも相手をたて自分を相手よりも下に位置づけるということが礼儀とされているようだ
・日本人特有の相手を持ち上げ，自分は下手に出る，極端にいうと敬うという姿勢が先行する
・日本人特有の「謙遜」や「へりくだり」の精神が横たわっていることに気づかねばならない
・日本では，相手をほめる（「日本語がお上手ですね」等），相手を立てるのが対人の文化なのだ
・会話の話題の中心がいつも相手にあるようにするために質問して相手をたてているのだ
・自分について話さないのは控えめにふるまっているからなのだ
・相手を立てようとすることで自分自身のことは何も言わない
・相手に対して，いろいろ質問をすることは礼儀の一つだと考えているのである
・相手に尋ねるということが一種の礼儀になっている
・日本人はあまりでしゃばったことをすると良く思わない傾向があり
・自分のことについて話すのはでしゃばっている，というふうに考えがちで，相手のことを立て，自分は聞く側にまわって謙虚な態度を見せることがよいとされている
・自分が質問をして，相手に自分のことをしゃべらせるということが重要であり，そこには，自分は謙遜して相手を尊重するという日本独特の文化が表れている
・自分のことを何も話さないというのは，余計な自己主張によって自分の情報を相手に押し付けることはかえって迷惑なことだろう，という謙遜の気持ちではないか
・あいまいに返答したり，相手中心になるように返答したり，否定することにより相手をたてたりする。自分をへりくだった立場におき，相手を自然とたてる関係は多種多様な人間が存在する世の中でとても重要な意味を持つ
・日本人は相手のことを重視に考える。つまり相手を立てようとする気持ちを非常に持っている

2-2-1-6　自分にも質問してほしいという暗示
・自分のことは自分からは語らないのである，人から質問されてはじめて話す
・尋ねられれば話すだろうし
・聞かれもしないのに自分のことばかり話す日本人というのは日本ではあまり好まれない
・日本人は人に聞かれるまでめったに自分

から自分自身について話すことはない
・相手に質問されるまでは自分のことをやたらと話さない方が好ましいと考える傾向がある
・初対面の人との会話で質問されてもいないのに自分のことを話したりすることには抵抗を感じる
・相手に聞かれない限り自分の話をしないように思われる
・日本人は会話において聞き上手であることが，お互い話しやすく，よしとされる場合が多い
・質問攻めにするのは自分にもしてほしいという気持ち
・相手に尋ねるばかりで自分自身のことについて何も話さないのは，相手から聞かれるのを待っているからである
・自分から相手に質問していき，その問い返しを待っている
・質問する行為の裏には「私にも質問して欲しい，興味を持って欲しい，もっとお話したい」という意図があるのではないか

2-2-1-7　情報獲得による自己満足感
・日本人はどんな表面的な会話でも外国人とコミュニケーションがとれたという考えがある
・質問した事によって自分は他者の情報を多く入手し，仲が深まったと思うのである
・日本人は相手の情報が多いほど話はスムーズに進むと思っている。相手の情報が少ないと敬語表現を使うかどうかも迷ってしまう。相手と親しく話そうと思うことが理由で質問ばかりしてしまう
・相手のすべてを知ることで「親しくなった」と感じるところがある
・日本人は一方的に相手に話すよりも，自分のほうから相手に向かって質問することでその相手とのコミュニケーションをしっかり取れたと思い込んでしまう傾向がある
・自分は特に変わったところもないどこにでもいる日本人だから，それよりもどこにでもいるわけではない外国人のことを聞こうと思うからではないか

2-2-2　日本人の会話の特徴から弁明する
2-2-2-1　儀礼的性格
・同じ質問をするのは会話をスムーズに進めるための形式的な儀礼のようなもの
・この会話は，留学生への質問の決まり文句であり
・お決まりパターンは日本人にとっては楽であるし，これが美徳とされている感もある
・相手のことを色々知りたくて聞いているのではなく，あたりさわりのないことを聞いてただその場を過ごそうと思っているだけなのだ
・互いにもっと親しくならないと公式的な質問しかしないし，個性を表立たせることもない
・外国人と何を話してよいのか分からず，だからといって何も話さないわけにはいかないので，質問をしてしまうことでその場をやり過ごそうとしたのだ
・（日本人が外国人と会話する際）最初はできるだけ簡単な質問から入って会話に慣れてもらおうという意思がある
・うかつなことを言って，できかけた関係を壊したくない
・初対面の人に対していきなり込み入った質問をするのは失礼だという考え方
・初対面，またはそれに近い人に質問する内容は限られている
・初対面の相手に，バラエティに富んだ質問を要求する方が無理
・日本人は初対面の人と話す場合，日本文化において日常生活で使われる，社交辞令的会話から始めてしまうのである
・このような質問はまだ親しくなっていないうちのその場限りの道具のようなもの
・質問をするのが当たり前だと考えている
・もうこれらの決まりきった質問しか頭に浮かばない
・初対面同士では相手に尋ねるばかりの質問をすることが多い気がする
・同じ質問をするのは会話をスムーズに進めるための形式的な儀礼のようなもの
・日本における他者との交流の第一歩がこれ（＝質問する）なのである
・その文化でタブーとされている会話をしてしまうのを極力さけるために，以前日本人が外国人にしたと思われる(あるいはその質問をしたと知っている)質問をすれば，発展した会話はできなくても，悪い印象は残らない
・相手を傷つけないように，あいまいに，やわらかく会話したいと思っている日本人は，思っていることをはっきり言えずに，当たりさわりのないことを言っている
・当たりさわりのない事柄を尋ね，適度に相手をほめたりしながら，徐々にコミュニケーションをとろうという日本人独特のやり方である
・定番の質問をし，ほどよい関係を作ろうとする
・何か話をしなければとは思うけど，相手を傷つけたり，気まずい雰囲気になるのは嫌だから，一般的で当たり障りのないことを聞く
・プライベートなことを聞いたり，言いたくないことを聞いてしまったりするのではないか，それによって相手の心証を悪くし，円満な人間関係が成り立たなくなるのではないかという不安もあり
・同じ質問ばかりというのは，相手が留学生であり，外国人であり，他人であるので，相手にふみこみすぎない質問を選ぶからである
・日本人はうわべだけの付き合いが上手だ

2-2-2-2　共通の話題探し
・共通の話題を探している
・たくさんの質問をすることで自分との共通点を見つけ出し，安心したい
・質問するというのは会話をつなげる行為であり，話題を探しているとも考えられ，共通点がわからないため，まず相手を知るために質問をしている
・知らない人なのでその人に関するデータがなく，何を話していいかわからないため，相手のことを知ろうとし，その会話の中に出てきた単語から連想することができる話題を求めている
・全く素性の分からない相手に対して何でもよいので共通の話題を見つけ出してそこから会話を広げようという心理が働いている
・相手の習慣など何もわからないので，何を聞いてよいのかまったくわからない
・日本人が相手に尋ねることが多いのは，相手がどういった状況にあるのかを知り，自分と似た部分を探し，話を広げようとして，コミュニケーションをとろうとしているのだと思う
・日本人が質問ばかりするのは，何か共通点，もしくは興味のある点を見つけて会話を始めるための糸口を探しているのではないかと思います
・初対面の相手にいろいろと話を振ってみて相手の好む話題，話が長く続く話題を探している

2-2-2-3　相手の出方をうかがう，距離を測る
・相手のことをあまり知らない場合はどういう会話していいかわからず
・相手がいったいどんな人であるのかということを重視する
・本音をさらけ出すより，建前で相手をうかがい，相手の話し方や雰囲気から自分と相手はいったいどのような関係を築けるのかをシュミレーションしている
・相手の言葉の中からいい話題を見つけ出そうとする
・相手のことを知ることで自分に近い存在であるかを確かめている
・質問攻めにするのは日本人に根付いた，初対面の人に対する接し方であり，ただ相手との関係へのきっかけを探しているに過ぎない
・自分のことを話すよりは，質問をした方が返事が返ってくるので相手の反応をうかがえる
・日本人は初対面の人と会う場合，相手の素性を知りたがる
・相手のことをある程度理解しておかないとコミュニケーションがとりづらいから
・日本人は未知の人々に対する恐れが人一倍強い。そこで相手にたくさんの質問をして相手に対する断片的な情報を集めてその人を類型化し，未知から既知の領域にとりこもうとするのである
・自分の中で相手のことを整理してからでなければ，得体の知れない人に自分のことを話すのはなんとなく怖いというような心理が働き，つい相手に対して質問ぜめになってしまう

2-2-2-4　沈黙への恐怖
・会話が止まってしまうのが恐い
・沈黙が流れたり，しらけた空気になったりするのを嫌う
・会話が途切れずスムーズに流れるようにするため
・会話が絶えないように気を使って質問しているのではないか
・外国人との会話を終わらせないための配慮
・会話を途切れさせるのは相手に失礼だと思っていて，とにかく自分の話せる範囲で会話を続けようと考えてしまうのかもしれない
・何か話しかけなければならないように思えるし，何か聞かなければ失礼であるように思える
・気を使っていろいろ質問をしている
・初対面の人と何も話さないという気まずい雰囲気を作りたくない
・会話を途切れさせて相手につまらない思いをさせたくないという思いが先にたって，留学生に根掘り葉掘り質問してしまうのである
・日本人は自分の気持ち，感情，意見などをはっきり言わないのに，無言でいることをあまり好まない
・このような質問は相手への過度の好奇心というよりも，会話をとぎれさせて気まずくなったりしないため
・お互いに気まずい時間を共有したくないという思いやりからの行動である
・無意識なお決まりのパターンで間をつないでいると思われる

2-2-2-5　相手への興味を示す
・相手に興味を持っていることを示そうとしている
・相手のことをもっと知りたいと思うゆえに自分について語ることがおろそかになってしまう

・相手にたくさん質問をして，相手に大変興味を抱いていることを示す
・もっとよく知って仲良くなりたいという積極的な交流態度の現れではないだろうか
・相手に質問を投げかけることで，私はあなたについてこれだけ興味関心をもっていますよということを示している
・二人の関係を友好的に保とうとする意識がはたらいている
・仲良くなろうと最善を尽くしている
・新しく知り合った人と，早くいろんなことを知って仲良くなりたいから
・相手に質問をしつづけることで，自分がいかに相手に興味を示し，知りたがっているかを証明しようとしているだけなのではないか
・相手に関する事柄を質問することでその人に対する興味・関心を示し，その人と仲良くなろうとしている
・質問されるということは，自分に何らかの好意を持っていてくれているということだから，嬉しいと思うのが普通
・日本では相手に興味をもつ＝相手に好意を持つという考えがあるのではないでしょうか
・何も質問されないと，自分に興味がないのかなと思ったり
・逆に聞かれなかったら自分のことを知りたくはないんだなと考えてしまうだろう
・一番相手を喜ばせる方法を，無意識に外国人に対しても適用しているだけなのだろう
・何も質問されないと，自分に興味がないのかなと思ったり，自分と話していて楽しくないのかなと思ったりする
・理解し合いたいというよりむしろ一方的に知りたいから

2-2-2-6　答え易さへの配慮
・あまり親しくない人と会話をするときは，必ず答えが返ってくる質問が便利なのだ
・日本人がいつも同じ質問をするのは人間関係を大切にしようとするからだと思う。相手が答えに困ったり，不愉快になってはいけないと考える
・日本人は外国の人と話す時，自分のことをいっても相手には返答の仕様がないかもしれないといったことや，会話が途切れて相手が「何か言わなければ」と思ってしまわないようにしなければいけないという様な事を考え，質問する立場に回るのだろう
・いつも同じ質問をするのは，相手がこちらからの質問をある程度予測でき，相手に考えるという負担かけさせないようにするという目的からではないか
・その質問が相手にとって答えやすいものであるということは，日本人なりの優しさであると思う

2-3　その他
・相手をほめられる点を見つけ出してほめている
・他者を上手にほめることで両者間の人間関係をスムーズに
・「どちらに行かれるのですか？」「何をしていたの？」があいさつとして成立する日本においては，日本的おせっかいをすることが求められるのである
・日本人は質問好きな民族だと思う
・同じ質問ばかりするのも，外国人はめずらしいとかの一言でくくってしまい，全ての外国人が同じものであるとしか思えないからだ
・日本人に囲まれて暮らしてる僕達はどうしても外国人をよそ者とみなしてしまい，よそ者に自分のことを教える必要がないと考えてしまうのでは
・自分個人を理解してもらうのではなく，日本全体を理解してもらいたい

3　問題への対処法
3-1　問題に対処しない
3-1-1　例外的で不幸な出会いであると処理
・興味をもちすぎると書かれているが，それはまれなこと
・この例は極端な例で
・この場合の日本人は相手が外国人ということで，何を質問してよいか分からず，返ってきた答えをフォローアップする質問をする余裕がなかったのだと思われる
・この外国人と出会った日本人は，外国人に対して質問ばかりする人だったのかもしれない

3-1-2　自然な解決を待つ
・外国人と接する機会は増えるだろう，そうすれば不愉快な思いをする外国人も減っていくのではないだろうか
・これから国際化が進み，身近に外国人が多くいるようになると，このような会話をする人も減っていくと思う
・外国人との相互交流を積み重ねていくうちに，日本人は外国人に対する理解を深め，外国人とも日本人同士のような会話ができるようになり，外国人の不愉快な気持ちも減っていく
・これは教えられることではなく，実際に外国人とふれることによって自然に解消されるものだと思う。心の壁を取り除いていく人が多くなれば同時に日本社会も変わっていくと思う
・少し時がたって二人の間に人間関係の基盤ができたら日本人の人も自分のことについて話し始めると思う
・不愉快な思いをさせられるのは出会ってごく最初の会話に限られると思う

3-2　問題に対処する
3-2-1　外国人に向けられたもの
3-2-1-1　外国人への反論
・外国人は日本人に対する不満を口にするのが好きなようだ
・外国人は自分を主張しすぎる
・外国人と話すことに緊張している場合もあるので，私は外国人のほうも日本人ばかりを責めずにいてほしい
・外国人には日本人は悪気があってするのではなくむしろ好意からやっているということを少し理解してほしい
・異文化と接するのだから必ずしも自分の思い通りの反応がえられるわけではないということを気にとめておくべきだと思う
・外国人への好奇心をもっと良い方向に見てほしい
・日本人的な考え方を知れば，それほど不愉快なものではなくなるのではないか
・この日本人の対応も，日本人が「はし」を使ったり「おじぎ」をしたりするのと同じ文化だととらえてほしい
・日本文化をもっと理解してもらえれば不愉快な思いも変わってくるのではないか
・日本人は質問好き，その文化的背景まで知ってもらいたい
・外国の文化から見ればおかしいかもしれないが，日本ではそういう風に育ってきてるわけだから，外国の方にも理解を示してほしい
・日本で暮らす以上，また日本文化を学ぶ以上，これは決して上面だけのよそよそしさでなく，文化・慣習であることを知ってほしい
・これらの会話はこの２者が，これから関係を深くしていく上での入口であり，これから始まる会話の，きっかけともなる挨拶であり，その裏側には「これからよろしく」といった意味さえ含んでいるのであって，留学生にもそのことを理解してもらいたい
・日本人にはまったく悪気はないし，むしろ相手を気づかってのことであるので，わかってほしいと思う
・異文化であることから生じる食生活の違い，物の考え方，感じ方の違いなどが原因であると思う
・日本文化をよく知らないだけ
・日本に関する知識が不足している
・時に外国人から批判的となる場合も多いであろうが屈することなく日本文化のもつ独特な「財産」として誇るべきものだと思う
・日本人に対し質問をしない外国人の方が，日本人に対する好奇心が薄いのではないかと考えられる
・留学生も不愉快になるのではなく，文化の違いを楽しむべき
・日本に住んでいるのなら日本人にあわせなさいと言いたい
・「郷に入っては郷に従え」というように，自国の文化だけに固執するのではなく，他国の文化もしっかりと理解しないといけない
・自分の国の文化が絶対だと思いこみ，他の国の文化を否定するような考えは捨てる
・外国人に興味を持っていても話しかけられない日本人が多い中，この人は積極的に話しかけてきてくれているのだから，この留学生も日本人と仲良くなるチャンスととらえて，喜んで交流すべきだと思う
・留学生の方はこのような日本文化を研究されるのもおもしろいかもしれない
・今日の国際社会では，自分が行った国の文化に溶け込むことが重要だ，溶け込むのが無理でも勉強する必要はある
・不快に思ってしまうことがあっても，これが文化の違いなんだと認識し，理解していくことが必要なのではないかと思う
・アメリカやイギリスでもお天気のことから話すと聞きます。日本人との違いはありません

3-2-1-2　外国人への提案
・質問し返せばいいのにと思う
・自分からも相手に色々と尋ねていけばお互いに会話が楽しめるのではないだろうか
・「はい」「いいえ」だけでなくもっと話を長く続けることを期待されている
・外国人から日本人に対していろいろ質問してみればよい
・日本人が質問ばかりして自分のことを話さないというのなら，逆に質問を返してみたり，同意を求めたりすべきである
・（留学生も）一方的に攻められることより，質問をしたほうがいいと思います
・質問されつつ日本人のことが聞けるとより一層うれしいと思う
・留学生は相手のことも知りたいと思うなら自分で聞けばいいし，「あなた自身のことも知りたいから話して下さい」と頼めばいいのだ
・日本人を否定的にとらえないで，自分から積極的に質問すればいい
・相手もどんどん質問して，会話のキャッチボールをするべき

3-2-2　日本人に向けられたもの
3-2-2-1　日本人への提案
3-2-2-1-1　相手に間を与えよ
・相手に質問の間を与える
・相手が自分の口から話してくれるのを待ってみる方がよいのではないかと思う
・相手に質問させる間を与えたり，一つ一

つの質問の答えに対して適切な反応を返すことが大切であると思う

3-2-2-1-2　自分のことを話せ
・人に質問する前に自分のことを話す
・自分の情報も同じだけ与える
・自分自身のことも相手に伝えることが重要
・自分の意見をはっきり述べるべきだ
・日本人はもっと自国の文化にも関心を持ち外国人との会話の中で，お互いの文化の良い面，悪い面を話せるようになるべきである
・日本人としての誇りを持って日本人をもっとアピールすべきだと思う
・相手が外国人であれ日本人であれ，相手に好奇心を持ち，知りたいと思うのなら，相手のことばかり聞いているのではなく，積極的に自分のことを話し，コミュニケーションをとっていくべきだ
・日本人の「知りたい」という気持ちも理解できなくもないが，相手の外国人のことを考えるなら，その気持ちをおさえて，自分のことも伝えながらコミュニケーションをはかる努力が日本人には必要だと思う
・相手のことを聞いたら，自分あるいは自分の国についても，情報を交換すれば
・相手の返答を聞いて，それについての感想・意見，自分はどうかなどについて話すべき
・自分自身のことを話しながら質問していけばいい
・我々もできる限り外国人と接するときには，自らのことも積極的に話していき，互いの意思疎通を図るよう努める
・相手の情報を適度に聞き出し，そこに自分の情報も織り交ぜながらバランスの取れた会話，そしてコミュニケーションをとるよう心掛けるのがベスト
・初対面の人と会話をするときには例のような質問だけでなく自分の趣味や今やっていることなどの話をするようにしている

3-2-2-2　努力目標
・他の国々の人に対して，よく考えて接するべきだ
・日本人同士で話す感覚のまま外国人と話すと，相手が不愉快を感じてしまうこともあるのだということを頭に入れておかなければならない
・私はこのような日本人独特の会話の進め方は直すべきものだと思います
・日本語が得意でない外国人だったら，日本人がもっと気を使うべきだと思う
・他人と話するときには相手も自分も尊重できるように気をつけないといけない
・国際社会の中で，外国の人々とのコミュニケーションをうまくとるためには，言語運用能力だけでなく，このような文化や習慣の違いに関する知識も不可欠である
・好奇心をもちすぎることがあってもやはり相手に失礼のないようにすべきことは私達の脳裏に焼き付けるべきことだと思う
・国際社会の中の一員として外国人を見れば，特別な意識は芽生えにくいと思います
・日本人も外国人も国際社会の一員として同じ目で見てお互いのことを分かり合うことが大切
・日本人の排外的な考えを改めなければ
・グローバルな活動をするには英語力，英語文化の理解度が問われているので日本独特の会話進行を否定するのではなく使い分けをする必要があると思います
・やはり相手の文化の根底にある心理面を理解することだと思う
・好奇心を全部相手にさらけ出してしまうと相手に負担になってしまう気がする
・日本人が外国人に対して特別意識を持たないようにするべき
・その国の文化をきちんと理解することが重要だと思います
・自国の文化，異文化についてよく知るべき
・日本人は異文化をもっと経験し，外国の人ともっと触れ合うことが大切
・それぞれの文化の違いをしっかり認識しておく必要がある
・日本人のほうも答えに突っ込んで質問をせず，質問を変えていく配慮が足りない
・そのような態度を自分に対してとられたらどう思うかぐらいのことは想像するべきだと思います。あまり構えて質問ばかりするのではなく，友人に接するときのように相手のことも考えて会話すればいいのではないかと思います
・相手のことを知ると同時に，より積極的に相手に自分を知ってもらう努力も必要である
・日本人は質問していろいろなことを知るのもよいが，自らの質問で相手を不快にさせていることも知るべきである
・国籍なんかにこだわらず同じ地球という奇跡的な確率でできた星に暮らす仲間として考えるべきだと思う
・外国人と対等に話すよう心掛ける
・日本人と外国人という区別なく関わりあっていこうとする
・外国人との会話を終わらせないための配慮でも，外国人にそれが伝わらないならやめるべきだ
・外国人から見て不愉快に思われることは礼儀とは言えないので，見直していく必要がある
・私たちの考えを変えることも必要である
・会話とは言葉と言葉のキャッチボールであることを意識して，外国人との会話を楽しむ
・相手が外国人であっても日本人であっても話すときは相手の立場に立って考えるくらいの余裕がほしいものであると考える
・留学生は日本に来てまで語学や文化を勉強しているのに，自分は相手の国について知らないことを質問責めする前に恥じてわびるべきだと思う
・外国人の日本語能力を身勝手に査定して，先入観を持って会話をしている
・一方的に日本人が形式的な質問を投げかけているだけでは，会話の中で使われる日本語が限定され，外国人が実践の場で日本語を習得する機会さえ奪ってしまう
・日本人の間での会話のやりとりでは当然とされる礼儀というものが，外国人と話すとき失われがちである
・日本人は普段ポジティブな面が抑圧されているため，「外国人」という一種のはけ口と接触することで，一気に表に表れてきてしまう。ポジティブな面とネガティブな面を上手にコントロールできるように訓練する
・知識を与えてもらうばかりでは自己中心的

3-2-3　双方に改善を求めるもの
・必要なのは，相手の気持ちを考えつつ行動することだ
・愉快な会話になるよう双方が努力していかなければいけないと思う
・互いにある程度の配慮も大切だと思います
・会話とは言葉のキャッチボールであり双方に問題あり
・会話というものは，キャッチボールのようなもので，相手と自分のことを交互に話していくべきものだと思う
・一方通行な会話はするべきではない
・コミュニケーションというのは互いに理解しあおうとするのが目的であるはず
・自分の立場からではなく，相手の立場に立って考えてみる
・コミュニケーションをとるときは，お互いが相手のことを知ろうと努めることが大切だと思う
・お互いが自分自身について話してこそ，コミュニケーションにつながっていく
・二人のうちどちらかの少しの気遣いで，会話を生き生きとしたものにできたはず
・コミュニケーションというものは互いに質問し，お互いが相手を理解していくものだと思う
・文化の違いによってこのようなことが生じるので，互いに理解しようという気持ちを持てば問題ない
・互いが互いの文化の違いを認めていく姿勢が必要だ
・どちらかがこのやりとりを転換させれば会話を楽しむことができると思う
・お互いに文化が異なるところからきた人が考えていることを否定せずに受け入れる努力が必要だ
・相手が求めている会話スタイルがどのようなものか探り合って理解することが大切だと思う
・異文化同士の人との会話やかかわりでは，相手の文化にも気を配り，お互いに不愉快な思いをしないようにできればいいと思う
・それぞれが少し相手の文化を理解しようとすれば，互いに満足のいく会話になるのではないかと思う
・二人とも一言多く，を心がけて会話をしてみるべきなのである
・質問をする前に何らかの謝罪なり，何なりをして相手を不愉快にさせないように心配りをする必要が質問をする側にあり，される側もそれを踏まえて対応する必要があると思う
・外国人は「自分自身のことは隠して，外国人からたくさんのことを聞く」ことが外国人に対して「親切な行為」だとはとらえていないので日本人はこのことをよく理解し，外国人については対処すべきであると思う。また外国人にも「日本人はこのような行為が親切な行為であると思って行動している」ということをぜひわかってもらいたい
・相手を気遣って，語り合えばお互いによりよい関係を築いていけると思う
・本人どうしが相手の立場になって物事を考えていくことが重要
・お互いの考え方や習慣を考慮に入れて対話を行うべき
・お互いがお互いの気持ちを察してあげる
・お互いが相手の国について学び，時に気分を害する行為をされても，それを許せるだけの心の広さを持つ
・自国の文化への誇りと，他者の文化を認めることができる心の広さが必要